

地震・津波から身を守る技能を身に付ける			
01.	心肺蘇生の技能を身に付けよう	設定 時間	90分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当の意義と目的について理解する。 ・心肺蘇生法の手順を理解し、技能を身に付ける。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育教科書 ・参考資料（下記①，②参照） ・心肺蘇生技能講習機材一式 		
教材 参考資料	① 総務省消防庁「救急車を上手に使いましょう」平成23年3月 http://www.fdma.go.jp/html/life/kyuukyusya_manual/index.html ② 日本医師会「大切ないのちを救う心肺蘇生法CAB+D」(CABDカード) 平成24年8月 http://www.med.or.jp/99/seisakubutsu.html		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・「救急車の到着時間」について考える。 〈発問〉 「学校で人が倒れ、救急車を呼んだ場合、到着するまでにどれくらいの時間がかかるだろう」 ・救急車が来るまでにできることとして、心肺蘇生法による救命救急があることを知る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・資料で確認する。交通事情によって差があることを補足する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・「心肺蘇生法」について知る。 ・AEDについて知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><u>心肺蘇生法(CardioPulmonary Resuscitation; CPR)</u> 傷病者が意識障害、呼吸停止、心停止もしくはこれに近い状態に陥ったとき、呼吸及び循環を補助し、傷病者を救命するために行う手当。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><u>AED (Automated External Defibrillator)</u> 自動体外式除細動器のこと。突然心停止状態に陥った時、心臓に電気ショックを与えて、正常な状態に戻す医療機器。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生法の実習を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書（又は資料）で確認する。 ・AEDについては実物を示し、平時の設置場所を確認する。 ・「心室細動」について教科書（又は資料）で説明する。 ・手順や手法は更新される場合があるので、実技指導は消防局員又は日本赤十字社員の指導のもと実施する。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を振り返り、心肺蘇生法の手順を再確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・資料で確認する。 ・技能維持のために、定期的に講習を受ける必要があることを説明する。
学習指導要領との 関連	体育(G 保健 (2) けがの防止) 特別活動, 総合的な学習の時間		

地震・津波から身を守る技能を身に付ける			
02.	服を着たまま水に入ると？	設定時間	90分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・服を着たまま水に入ったときの感覚を知り，特性を認識する。 ・着衣入水時に水に浮く方法や，溺れている人への対処法を身に付ける。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・入水時着用衣類（着替え類） ・2L 空きペットボトル ・レジ袋 ・〇×クイズのカードと答えのカード 		
教材参考資料	<p>【講師問い合わせ先】 海上保安庁高知海上保安部警備救難課救難係 高知市棧橋通 5-4-55 088-832-7111 日本赤十字社高知県支部 高知市丸ノ内 1-7-45 総合あんしんセンター1階 088-872-6295</p>		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・〇×クイズを行う。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ① 水の事故により，毎年全国で約 500 人がなくなっている。 ……×（約 1,000 人） ② 水の事故の大部分は，海や川や湖など自然の場所で起きている。……○ ③ 水の事故の原因の多くは，水泳や水遊びである。 ……×（釣りや通行中，付近で遊んでいて誤って落ちる） </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・水の事故による溺死の70%以上が着衣の状態であることを示す。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・プールサイドから入水する。 →衣服が体に張り付く感触を確かめる。 ・ばた足，クロールで泳ぐ。 ・水の中を歩く。 →手足の動かしにくさや，浮き身のとりにくさを確かめる。 ・プールサイドに上がる。 →衣服の重みで水中に引きずり込まれるような感触を確かめる。 ・背浮きをする。 →浮き具がない時の浮き身のとり方を知る。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・顎を上げ（頭を下げ），全身の力を抜く。 ・3分を目標にする。 ・衣服で空気を包み込むと浮力が増すことを体感する。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルやレジ袋で「ラッコ浮き」をする。 →身近なものを浮き具に代用する方法を知る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業の指導に準じて準備体操等の指導を行う。 ・水着での水泳との違いを感じ取るよう指導する。 ・溺れている人の救助にも応用可能であることを補足する。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・服を着たまま水に入って感じたことをまとめる。 ・水の事故を防ぐための約束事を確認する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・原則として，水辺に行くときは大人と一緒にいくこと。 ・「自分の命は自分で守る」ことを，普段から意識する。 ・溺れている人がいたら，すぐに助けを呼ぶこと。 </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・溺れている人がいても，自分は水に入らないことを確認する。
学習指導要領との 関連	体育(G 保健 (2) けがの防止)		

地震・津波の正しい知識を身に付ける			
03.	過去の巨大地震について知ろう	設定時間	45分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国の巨大地震の歴史を知り，過去の地震における高知県の被害状況を知る。 ・地震や津波に対する防災意識を高める。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・地震の歴史年表（下記①参照） ・世界地図 ・昭和南海地震の記録写真（下記②参照） 		
教材参考資料	<p>① 東京都教育委員会 防災教育補助教材「3.11を忘れない」小学校版 平成24年1月 http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/pr120126-2.htm</p> <p>② 高知市防災対策部地域防災推進課 http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/old-photo.html 高知県危機管理部南海地震対策「南海地震に備えちよき」（家庭保存版） 平成23年11月 http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/010201/sonaetyoki-pumphlet.html</p>		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が知っているこれまでに日本が被害を受けた地震を想起する。 〈発問〉 「みんなが知っている地震ってどんな地震がある？」 ・高知県が大被害を受けた地震について知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・安政南海地震 ・昭和南海地震 ・チリ地震 ・東北地方太平洋沖地震 ・高知県に被害をもたらす地震の共通点を見つける。 〈発問〉 「これらの地震に共通していることはどんなことかな？」 <ul style="list-style-type: none"> ・太平洋側で起きた地震 ・プレート境界型の地震 ・大きな津波を起こした地震 ・今後の南海地震の際には，どのようなことが起きると考えられるかイメージする。 〈発問〉 「今後発生する南海地震についていえることは，どんなことだろう」 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験でなく，伝聞などでもよいので，想起させる。 ・写真や資料がある地震は，それらを提示する。 ・歴史年表で発生した時期を確認させる。 ・他の歴史的出来事と照らし合わせ，時代背景をつかませる。 ・世界地図を広げ，地理的關係をもとに考えさせる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> 過去の南海地震の様子から，次の南海地震の際にも，激しい揺れとともに大きな津波が起き，沿岸部では甚大な被害を受ける。 		
学習指導要領との関連	社会(第5学年(1)我が国の国土) 理科(第6学年B生命・地球(4)土地のつくりと変化) 特別活動，総合的な学習の時間		

地震・津波の正しい知識を身に付ける			
04.	津波の高さを知ろう	設定時間	45分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 津波からの早期避難の意識を高める。 地域ごとの津波到達時間や津波予測浸水深などを知る。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> 高知県, 高知市, 校区等の白地図 (下記①参照) 動画「津波実験」, 「津波来襲のようす」 (下記②参照) 南海トラフ巨大地震被害想定図 (津波高, 浸水深マップ 下記③参照) 		
教材参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ① 高知市行政事務支援システム「高知市 WebGIS」 (行政事務支援システム接続 PC より) ② 高知県教育委員会「南海地震に備えちよき」教材 DVD 平成 24 年 3 月 ③ 内閣府防災担当「南海トラフの巨大地震モデル検討会」 http://www.bousai.go.jp/jishin/chubou/nankai_trough/nankai_trough_top.html 		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 学習目標を確認する。 		
展開	<ul style="list-style-type: none"> 「津波来襲のようす」を映像で視聴し, 自分の住んでいる地域に津波が到達したらどうなるかをイメージする。 〈発問〉 「この地域に津波が来たらどうなるか, 想像してみよう」 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 自分が住んでいる町がどんな町なのかを考え, そこに津波被害を重ね合わせて想像する。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 高知市の津波高, 浸水深, 津波到達時間について知る。 自分に関係の深い施設や場所, 地域の津波高, 浸水深, 津波到達時間を白地図に書き込む。 様々なケースを想定し, 「避難に適した場所」に印をつける。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 家にいるとき 登下校中 遊びに行っているとき (よく行く場所) </div>		<ul style="list-style-type: none"> 既習のことがらをもとに, 地理的特徴, 人口, 産業, など地域の特色を踏まえて思考させる。 凡例をつくり, 色分けするとよい。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りをする。 〈発問〉 「今日の学習から言えることはどんなことだろう」 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 南海トラフで地震が発生すると, 高知県は, 日本で最大級の津波が襲うことが予想されている。 高知市の市街地が広範囲にわたって長時間浸水する。 津波到達までの時間から考えて, 適切な避難行動をとることで津波からの避難は可能である。 津波被害から逃れるには, 「早期避難」以外にない。 </div>		
学習指導要領との関連	理科(第 6 学年 B 生命・地球 (4) 土地のつくりと変化) 特別活動, 総合的な学習の時間		

自助・共助の態度を身に付ける			
05.	こんなときどうする？ ～クロスロードにチャレンジしよう！～	設定時間	45分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時における様々な条件を想定し、とるべき行動について考える。 ・自分とは異なる意見や価値観を共有するとともに、決断に必要な条件を考える。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート (P.89) ・クロスロードカード (P.90～92) ・「Yes」, 「No」カード (1人1枚) ・金のカード 		
教材 参考資料			
	学習活動	留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・クロスロードとは何かをイメージし、発表する。 <p>〈発問〉 『クロスロード』とは何か、想像してみましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロスロードについて説明を聞く。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・クロスロードとは英語で「分かれ道」という意味 ・災害時の対応や支援において直面する「ジレンマ」からの難しい判断を体験するゲーム ・正解はない。他の人が判断を下した理由を聞くことで、多様な価値観に触れることができる。 ・判断に必要な条件を考えることで、災害への事前対策にも役立つ。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスロードとは何かを想像させる。 (「クロス」と「ロード」の言葉からイメージさせる) ・「正解がない」ことと、「考えの共有」が重要であることを確認する。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスロードを行う。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>〈すすめ方〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 班の形になり、各自が「Yes」, 「No」カードを持つ。 ② 教師が問題を提示する(プレゼンテーションを活用)。 ③ 問題に対して自分なりの理由をつけて「Yes」, 「No」を決め、カードを裏向きにして机に出す。 ④ 全員がカードを出したら、一斉に表に返す。 ⑤ 判断や決断の理由をそれぞれ述べあい、意見交換する。 <ul style="list-style-type: none"> ・一人だけ異なる意見を出した人は、貴重な意見として金のカードを受け取り、最後に自分の考えを述べる。 ・迷った点、悩んだ点はどんなところかを話し合う。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の提示は1問ずつ行う。 ・判断結果の確認だけに終わらないよう指導する。 ・他の人の意見を聞いたうえで、改めて自分の判断を行わせてもよい。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスロードの振り返りをする。 (ワークシートに感想を書く) ・感想を発表し、交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・条件のちがいによって、判断や決断が変わる場合があることに気付かせる。 	
学習指導要領との 関連	特別活動, 総合的な学習の時間		

自助・共助の態度を身に付ける			
06.	安全なくらしと情報 ～緊急地震速報～	設定時間	45分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急地震速報のしくみと役割を理解する。 ・情報社会の利便性を理解し、情報の適切な活用法について考える。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・「緊急地震速報」リーフレット（下記①参照） ・緊急地震速報伝達時の映像（下記②参照） ・第5学年「社会」教科書 ・社会科資料集 		
教材 参考資料	① リーフレット「緊急地震速報」 気象庁 http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/eew201101/index.html ② 緊急地震速報伝達時の映像 日本放送協会（NHK） http://www.nhk.or.jp/bousai/		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・ニュース番組の映像を視聴する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「緊急地震速報」に気付く。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「緊急地震速報」のしくみに課題意識を持つ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生を事前に察知する技術の先進性に気付かせる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急地震速報について調べる。 〈発問〉 『緊急地震速報』ってどうやって伝えられているのかな？ 「どうやって地震の発生がわかるのだろうか？」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・地震計，コンピュータ，通信技術の発達で緊急速報を可能にした。 ・1秒でも速く，情報が私たちに届けられるよう，工夫されている。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「緊急地震速報」の利点を考える。 〈発問〉 『緊急地震速報』があると，どんないいことがあるか考えよう <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる場で，緊急的に防災体制がとれる。 ・乗り物などで，緊急停止の措置がとれる。 ・津波に備えることができる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「緊急地震速報」の受信方法について調べる。 〈発問〉 『緊急地震速報』ってどうやれば受信できるのかな？ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">テレビ，ラジオ，携帯電話，防災放送，インターネット</div>		
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを発表する。 ・緊急地震速報の果たす役割についてわかったことまとめる。 ・いざという時の心構えを行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「緊急地震速報受信機」など，実物を提示して紹介するとよい。
学習指導要領との 関連	社会(第5学年(4)我が国の情報産業) 特別活動，総合的な学習の時間		

地震・津波から身を守る技能を身に付ける			
07.	地震から身を守ろう ～避難訓練事前学習～	設定時間	45分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の命は自分で守る」ための技能及び態度を身に付ける。 ・休み時間等、指示を出す大人が不在の際にも自主的に避難できる判断力を身に付ける。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・防災（地震）訓練事前指導用イラスト（P.93） ・校内及び学校周辺地図 		
教材 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・気象庁 埼玉県熊谷地方気象台 地震発生時の退避行動・イラスト集（熊谷市立妻沼小・門田教諭提供） http://www.jma-net.go.jp/kumagaya/education/illust/index.html 		
	学習活動	留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・「津波てんでんこ」という言葉にある意味を考える。 <p>〈発問〉 「『津波てんでんこ』という言葉を知っていますか？」 「この言葉にはどんな意味が込められているでしょうか」</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「てんでん」とは→東北地方の方言で「めいめい」、「それぞれ」、「各自」という意味である。 ・そのまま言い換えると、「津波のときにはそれぞれ」となり、「自分の命は自分で守る」ことへの自覚を促す言葉となる。 ・ただ、「自分さえよければ良い」という意味ではない。誰もが「てんでんこ」と考えることで、結果的にすべての人の命が助かるという意味がある。 ・そのため、日頃から「津波てんでんこ」が意識できるよう、学習や訓練を行い、意識の共有をしておくことが必要である。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・利己主義的な発想であるとの誤解に留意し、東北地方太平洋沖地震発生時における釜石市の子どもたちの避難行動の事例などを紹介する。 ・自分で考え、判断し、避難するための訓練を行うことを告げる。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間、様々な場所にいるときの地震発生を想定し、一次避難（緊急避難）の方法を考え、校舎の安全な場所を確認する。 <p>〈発問〉 「休み時間、先生がいないときに地震が起きたらどうする？」</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・揺れを感じたり、緊急地震速報が聞こえたりしたら、すぐに近くの安全な場所（物品の落下や転倒がない場所）を判断して身を守る。 ・前もって校舎内外の安全な場所を知っておく必要がある。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・二次避難の必要性について考える。 <p>〈発問〉 「揺れが収まったあと、どうする？」</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「大きな揺れ」＝「津波」を想定する（地盤沈下もある）。 ・速やかに定められた避難場所へ移動する。 ・その際、下級生の手助けをするように心がける。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・指示を出す大人がいないことを前提に思わせる。 ・校内の地図や防災（地震）訓練事前指導用イラストを示し、校内の安全な場所を確認しながら進める。 ・二次避難の場所は、原則として教員の指示のもと実施する避難訓練と同じ場所であるが、実際にはそれぞれの判断で高い場所をめざす場合もあることを補足する。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練にしっかり取り組むことが、正しい判断や行動に結び付くことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指示する教員がいない場面での避難訓練の実施を示唆する。 	
学習指導要領との 関連	特別活動、総合的な学習の時間		

自助・共助の態度を身に付ける			
08.	防災倉庫の中身は？	設定時間	90分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫に備え付けられているものを知る。 ・防災倉庫の役割について考え、理解を深める。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫備品設置場所・備品一覧表（下記参照） ・防災倉庫備品（移動可能な物品） ・付箋紙 		
教材 参考資料	高知市防災倉庫設置場所 高知市防災対策部地域防災推進課 http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/hyoukou-map.html		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・校区の地図を見て、何に地図か考える。 〈発問〉 「この地図にある印は何を表しているかわかるかな？」 ※回答後〈発問〉 「高知市に防災倉庫はいくつくらいあると思う？」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">高知市が設置した防災倉庫は市内 80 か所</div>		<ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫の設置場所を記した地図を示す。 ・自主防災会や自治会が自主的に設置したものもあることを補足する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫の中に入っているものを予想し、付箋紙に書く。 〈発問〉 「防災倉庫の中に何が入っているか、予想してみましょう」 <ul style="list-style-type: none"> ・グループで予想したものを発表しあう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・予想した理由（なぜそれが入っていると思ったか）を述べあう。 ・グループで「防災倉庫用品リスト」をつくる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで作成したリストを全体に発表する。 ・防災倉庫へ行き、中に入っているものを調べる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「防災倉庫用品リスト」で、予想した結果を確認する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・何のため使うのか ・どうやって使うのか </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・「そう考えた理由」を明確にするように指示する。 ・自主防災会や自治会、行政担当者から、あらかじめ物品の用途について説明を聞いておく。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫の役割をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫には、限られたものしか入っていない。 ・自分の家で用意しておく必要があるものをしっかり考える。 ・誰もがすぐ使える場所に設置されている。 </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫の役割とともに、設置場所の条件についても考えさせるとよい。
学習指導要領との 関連	社会(第4学年(4)地域社会における災害及び事故の防止) 特別活動, 総合的な学習の時間		

地震・津波から身を守る技能を身に付ける			
09.	家の中の安全対策	設定時間	45分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 地震から身を守るため、自分の家にある危険について考える。 危険を事前に察知し、対策や逃げ道について考える。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> 写真「地震後の家の中」(下記参照) ワークシート(P.94) 		
教材 参考資料	高知県危機管理部南海地震対策課「南海地震に備えちよき」(家庭保存版) 平成23年11月 http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/010201/sonaetyoki-pumphlet.htm		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 学習目標を確認する。 地震発生後の室内の様子を、写真で確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> 揺れの激しさがイメージできるようにすすめる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 作成してきた自宅の部屋の見取り図で危険箇所をチェックする。 〈発問〉 「地震が起きた時に危険だと思われるところを見つけてみよう」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 自宅の部屋の見取り図から、家具がたおれたり、物が落ちてきたり、ガラスが飛び散ったりする所を赤で記入する。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートをペアで見せ合い、部屋の危険度についてお互いに意見交流する。 室外への避難経路を考える。 〈発問〉 「揺れの後どうやって部屋の外に逃げるか考えてみよう」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 室外への避難経路を青で記入する。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 地震対策として改善すべき点を考える。 〈発問〉 「地震に備えて、どんな所を改善する必要があるだろう」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 家具の配置方法 家具の固定 ガラスの飛散防止対策 など </div> <ul style="list-style-type: none"> それぞれが考えた改善箇所について発表し、共有を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> お互いが「そう考えた理由」を述べながらすすめるよう指示する。 すぐにできる地震への備えにクローズアップしてすすめる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 自宅で家族と話し合い、すぐにできる改善策を提案する </div>		<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を家庭に持ち帰り、話し合いの機会を持つように促す。
学習指導要領との 関連	家庭(C 快適な衣服と住まい) 特別活動, 総合的な学習の時間		

自助・共助の態度を身に付ける			
10.	自主防災組織との連携	設定時間	45分
学習目標	・自主防災組織の活動内容と地域とのかかわりについて知る。		
準備物等	・カード（裏面にマグネットシートを貼付） ・【講師】地域の自主防災組織の構成員（役員等）		
教材 参考資料	高知のくらし		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・自主防災組織のあらましについて知る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「高知のくらし」で既習事項を復習する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の方から、自分たちの地域における活動についての話を聞く。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>◇話のテーマ（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような人たちで構成されているのか。 ・どのような場面での活動を想定しているのか。 ・日常的にどのような活動に取り組んでいるのか。 ・活動する中で大切にしていることは何か。 ・活動する中で苦労しているのはどんなことか。 ・地域や地域の人たちに対する思い。 <p style="text-align: right;">など</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の方に質問する。 ・話をもとに、自分たちにできることや、やらなければならないと感じたことをカードに書く。 		<ul style="list-style-type: none"> ・講師を紹介する。 ・講師との打合せを十分行う。 (内容と時間設定に留意する) ・積極的な質問を促す。 ・自分たちの地域にある危険箇所の情報などについて、児童から提案させても良い。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・カードに書いたこと、理由を添えて発表する。 ・カードを黒板に貼る。 ・学習内容をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「困ったときはお互いさま」が自主防災の基本理念である。 ・地域の安全を守ってくれている人たちに協力する姿勢を持つことが大切である。 ・困難な状況を乗り切るためには、他からの支援ではなく、自分に何ができるかを考え、積極的に行動することが大切である。 </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・「自助」、「共助」という言葉を解説しながら、学習内容をまとめる。
学習指導要領との 関連	社会((4) 地域社会における災害及び事故の防止)		

自助・共助の態度を身に付ける			
11.	「苦しいときだからこそ」	設定時間	45分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・苦しいときこそ「公德心」が必要であることを理解させる。 ・法やきまりを守り、自他の権利を大切にするとともに、進んで義務を果たそうとする心情を育てる。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・読み物資料「苦しいときだからこそ」(下記参照) ・日本地図 		
教材 参考資料	文部科学省 小学校道徳読み物資料集 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/detail/1303863.htm		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・「苦しいときだからこそ」を読む。 ・地図で、被災地域を確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・黙読のあと、範読する。 ・阪神・淡路大震災の被災状況から、極限状態にある人々をイメージさせる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・給水車が来たときの父親の気持ちを考える。 〈発問〉 「給水車が来たとき、お父さんはどんな気持ちだったでしょう」 ・バスに乗ろうとしている客がけんかしているのを見たときの父親の気持ちを考える。 〈発問〉 「客がけんかしているのを見たとき、お父さんはどんな気持ちだったでしょう」 ・「並ぶことはみんなが生きること」という言葉を聞いて“私”はどのように思ったのか考える。 〈発問〉 「給水車が来たとき、お父さんはどんな気持ちだったでしょう」 ・自分の今までを振り返り、「周りの人のことを考えずに行動してしまった経験」を思い出し、話し合う。 〈発問〉 「周りの人のことを考えずに行動した経験を振り返ってどう思いますか」 		
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・苦しい時に行われている「秩序を守る行動」について考えを深める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災後の状況について話をする。
学習指導要領との 関連	道徳(2-(2),2-(5),3-(1),4-(1),4-(3))		

自助・共助の態度を身に付ける			
12.	避難所での生活と役割	設定時間	45分
学習目標	・集団でのルールやマナーを理解するとともに、自分にできることを積極的に考える。		
準備物	・付箋紙 ・模造紙 ・マジック		
教材 参考資料			
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・緊急避難以降の行動をイメージする 		<ul style="list-style-type: none"> ・緊急避難後の行動を時系列でイメージさせる。 ・「避難所」や「避難場所」の種類を確認して進める。 ・1つずつ理由を述べながら話し合うよう促す。 ・模造紙、付箋紙の使い方、カテゴリ分類の方法を例示する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・避難生活における課題を考え、付箋紙に記入する（KJ法による）。 〈発問〉 「避難所の生活にはどんな課題があるでしょう」 ・班の形になり、それぞれが考えた「課題」を模造紙に添付しながら共有する。 ・類似した内容ごとに付箋紙を整理しながら、カテゴリ分類を行い、見出しを付ける。 ・想起された課題を解決（改善）する方法を考え（カテゴリごとに）、模造紙に書き込む。 〈発問〉 「出された課題を解決するために必要なことはどんなことだろう」 ・班ごとに発表する。 		
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・個別学習の形に戻る。 ・本時の学習をとおして、避難生活を送るうえで大切な事や、自分が果たすべき役割について考え、ワークシートにまとめる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「災害時の対応は大人任せ」ではいけない。 ・自分ができることを積極的に考えることが大切。 ・多様なライフスタイルを持つ人が集まる避難所の特性を理解することが必要（価値観の違い）。 ・何より、「お互いを思いやる気持ち」が必要。そのためには普段から集団でのルールやマナーを守って生活することが大事。 </div>		
学習指導要領との 関連	社会(第5学年(1)我が国の国土)		